エリマネニュース

第 25 号

深谷台小学校エリアの広報紙

発行日：H25 年 1 月 31 日
発行者：深谷台
地域運営協議会
連絡先：深谷台小学校内
地域交流室
TEL：392-5735
http://www.drsansan.jp

心と身体を癒す場所はどこ！！

ーふらっとステーションで効果を検証ー

ドリームハイツ郵便局の隣に「ふらっとステーション・ドリーム」があるのをご存知でしょうか？　ここはレストランでも喫茶店でもない「地域の居場所」と呼ばれるところです。

人と人がつながることを大事にして、「ふらっと」と入ってランチをご一緒にしたり、お茶やケーキをお供におしゃべりをしたり、一人暮らしの高齢者や障がい者がここでお友達を作ったり、趣味が同じ人たちの交流の場所であったり、若者も子ども達も、誰でもがふらっと顔を出してホッとできる場所なのです。

スタッフはベテランの主婦の人たちで、安全でバラエティに富んだ献立で、皆を喜ばせてくれます。そして「美味しいねぇ～～って言われるだけで幸せなの」と言ってくれます。

いまの日本は高齢社会に突入して高齢者夫婦・高齢者一人暮らしが増えています。ドリームハイツも一人暮らしの高齢者は 400 名を超え、孤立死の心配すらあります。自宅に閉じこもってばかりいる人々には、次にくるのは認知症やうつ病が待っています。だって話し相手がいない。大声で笑うこともない。心配事があっても相談もできない。ますます不安が募るばかり。安心・安全で幸せな生活が送れるでしょうか。

ふらっとステーションは、2012 年 12 月 28 日横浜市指定ＮＰＯ法人となりました。

「ふらっとステーション・ドリーム」は開店して 8 年目に入りました。そして、見えてくるものは、少しも年を感じさせない 80 過ぎても美しい女性。毎日ランチに来られる男性の笑顔。昔はちっとも笑顔の無い人だったのに！！　賑やかなスタッフと食事をしながら笑顔で会話をしている顔・顔・顔。

ここに来られる人は年を感じさせない。きっと身体や心の中に何かが起きているに違いない。若いころには誰でも持っていた免疫力みたいなものが、身体の中で作られているのではなかろうか？そんな思いでいっぱいになりました。

そして、**横浜市や戸塚区役所**でも同じ思いを感じて、高齢になっても、障がいを持っていても、生き生きと暮らしていける効果が「ふらっとステーション」にあるならば、もっと「ふらっとステーション」を増やしていきたいと考えているようです。

それを検証するために、毎日ふらっと集まってくださる方々にお話を聞いたり、アンケートに答えて頂いたりすることになりました。どうぞご協力をお願いいたします。

当たり前の生活を、当たり前に過ごせるように

社会福祉法人 いずみ苗場の会　つぼみの広場
所長　金子　恭己

「つぼみの広場」は障がいのある子どもたちの学童保育です。活動が始まったのは 1998 年です。その頃は制度もなく補助金がもらえていませんでした。資金難のため、バザーや、チャリティーコンサートなどで、資金を集めながら活動し、保護者や関係者とともに市や県、国に要請行動にも行きました。

今までの成果が実り、昨年の４月やっと「放課後等デイサービス」という制度ができました。この間、15 年。最初に通ってきていた子どもたちは、もうとっくに卒業し、成人式も終わりました。

♪みんなでリズムに乗って♪

障がいのある人たちの制度の歴史を辿ると、養護学校の義務化は 1979 年です。それ以前は、就学免除というかたちで、学校にも通えない子どもたちがいました。また働く場「共同作業所」への国の補助が出たのも 1977 年です。つまり、30 年前までは、学校にも行けない、働く場もない障がいのある人たちがたくさんいたわけです。

障がいのある人たちの生活も、制度が変遷する中で、30 年前よりは生活しやすくなってきたと思います。それでもまだ、当たり前の生活を当たり前に過ごすことができていないと感じます。

私が、この仕事につくきっかけになったのは、学生時代の体験にあります。当時、同じ部活だった友人が、事故で半身麻痺の障がいをもつことになりました。それまで同じように過ごしていた仲間が突然、障がい者になったのです。その頃、私も学生だったので、彼が自宅に閉じこもりっきりにならないように、一緒に映画や遊園地にでかけました。そこで感じたのは、階段や乗り物などの移動時の困難さ、また、周りの人々の視線など。障害のある人たちはこんなにも生き辛い中で生活しているのかと、初めて実感しました。

現在、彼は作業所で働いています。しかし、彼は 1 人では移動や生活ができません。そのため、彼の親が仕事などで忙しくなると、施設に入所します。施設での生活が悪いとはいいません。ただ彼は支援してくれる人がいなくなると、今まで過ごしていた生活ができなくなるのです。

サンタの金子所長とメリークリスマス

障がいのある人たちは特別な存在ではありません。誰もが障がいをもつ可能性があり、障がいのある子どもの親にもなります。だからこそ、障がいがあっても、当たり前の生活を当たり前に過ごせるような世の中になってほしいと思います。

制度やサービスができるのには時間がかかります。しかし、声を出さなければ何も始まりません。これからも、彼らの代弁者として粘り強く訴えていきたいと思っています。

ドリーム地域給食の会
一緒にボランティアをしませんか

食事作りが大変な方にお弁当を作ってお届けする「ドリーム地域給食の会」の活動は、今年 24 年目に入りました。

スタッフも高齢になりましたので、介護予防を兼ねてゆったりと楽しく活動が出来るよう心がけています。

現在、日曜日・木曜日の週２回夕食を届けていますが、日曜日のスタッフがどうしても足りません。月１回日曜日の午後、お手伝い頂けませんか。１年に数回でも結構です（木曜日も大歓迎）。調理は午後１時～4 時、配達は午後４時前後の 30 分の活動となります。先ずはどんな様子か、お気軽に覗いてください。

場所⇒県ハイツ第２集会所（日曜日・木曜日　午後１時～4 時）

問い合せ先　大鳥居　☎852－0609　　淵　上　☎852－5138

いこいの家 夢みん：認知症プロジェクト⑦「傾聴」講座より

「聴く」ことで生き生きした暮らしを

参加者　延５２名

昨年の 12 月４日、11 日、18 日、ＮＰＯ法人シニアセラピー研究所「亀吉」の鈴木理事長他を講師にスタッフ研修を行い、「聴く」ことの大切さを学びました。その一部をお知らせします。

- **話す人のペースに合わせて・・**

  話し手が話しやすいよう笑顔で。話のテンポは相手の呼吸に合わせてゆっくりと。表情や眼差し、姿勢、声のトーンなども大切です。傾聴は、人と人との絆がベースです。話し手の価値観や人生観など、ありのままを受け入れる姿勢も大切です。

- **話題に回想法を取り入れて・・**

  昔の話は話題の一つになります。子供の頃、仕事をしていた頃、結婚や子育てのことなどは、相手の方をよく知る手掛かりになります。若い時のご苦労や喜びなどの話を共に味わい、共感しあえることで、話し手が元気になっていかれるきっかけとなることもあります。

研修の中で３人組になり「話す人」「聴く人」「観察する人」の役割を決めてワークを行いました。その時、聞き手の表情やしぐさ、目線などによって話しやすくなったり、緊張したりすることを実感し、相手に関心を持って、きちんと向き合うことが大切、と学びました。

「夢みん」の発足時から運営スタッフをしていて、利用者もスタッフも共に、「話す」「聴く」「共感」あっての交流が、生き生きと暮らすことに繋がっていると感じていました。これから先も、誰もが打ち解けて関わりあえる夢みんにしていきたい、と改めて思いました。

身近な「ドリーム文庫」へどうぞ

ドリームハイツの中に、気軽に本を楽しむことができる身近な文庫を、という願いで 1974 年に発足しました。当時に比べると、ハイツの人口形態は変わり、子ども達の利用は減りましたが、中高年の男性の利用は少し増えています。

自治会からの助成金で、新刊本を購入し、戸塚図書館からも定期的に本を借りています。毎月第２水曜日に定例会を行い、利用者の増加対策についても検討を重ねています。

皆さまのご利用をお待ちしています。
子ども向けの本もありますのでご家族でもどうぞ。

☆1 世帯 100 円の入会金を払っていただきますと、ドリーム文庫に登録され、一生無料で借りられます。

―本の貸し出し―

毎週水曜日　１４：３０～１６：３０
毎週日曜日　１０：３０～１２：００
場　　所　　県ハイツ第１集会所

ラララ♪しゃべり場

毎月第１金曜日に開かれる、子育て世代の親たちのホッとできる、楽しいしゃべり場です。どなたでも気軽に来てください。

２月１日(金)　10 時～12 時
３月１日(金)　10 時～12 時
場所は、深谷台小学校内プレハブ校舎内
「地域交流室」
問合せ先：近藤久実（地子ネット）

広告募集します！

広告サイズ　10 センチ×6 センチ
料　　金　　3,000 円
隔月発行、印刷は３,０００部
(配布先は深谷台小エリア及び周辺)
連絡先　地域運営協議会　392-5735

【あとがき】
最近、高齢者・障害者に対する国の施策がどんどん遠のいていくような気がしてなりません。介護保険はどうなるのでしょう。身体介護に重きが置かれ、生活支援は切り捨てられそうです。そうなると、地域の制度外のサービスがとても重要になってきます。全国の地域で小さなＮＰＯが頑張っています。そしてそれを地域支援事業としてまとめていかなければならないのが、包括支援センターなのです。大丈夫でしょうか？（れ）

広告

ヘアーサロン
さんけい
Ｐ有り
〈定休日〉
毎週月曜、
第１、第３火曜日
環状４号線，下和泉信号そば
大人3000円高校生2600円中学生2100円小学生以下1500円
男性、女性カット、フェイスエステ、顔そり、
パーマ、カラー、その他のメニューもあります。
訪問カットもいたします。出張料は頂きません
お気軽にお電話ください
ＴＥＬ０４５－８０１－８６７６(予約優先)